

玖波地域交流施設整備事業説明会・記録票

【日 時】令和5年6月11日（日）13時30分～14時30分

【場 所】玖波公民館 2階 第1・2研修室

【参加者数】53名

【市出席者】生涯学習課、自治振興課

（生涯学習課長）

皆様、こんばんは。本日はお忙しい中、お越しくださり、ありがとうございます。私は、大竹市教育委員会事務局生涯学習課長の川村です。どうぞよろしくお願いいたします。

「玖波地域交流施設整備事業」は、本日の会場でもありますこの玖波公民館をリニューアルする事業でございます。建物というものは、時間が経過しますと、どうしても老朽化いたします。建設当時は、地域の皆様の交流・活動・学習の拠点として、地域の皆様が利用しやすい施設として整備され、皆様の御協力のもと、今日まで使用されてまいりました。建物が古いか新しいかが、施設の価値ではございません。ご存じのとおり、玖波公民館は、2015年、平成27年に、文部科学省の優良公民館表彰で日本一に選ばれた、地域の宝というだけでなく、大竹市の宝だと思っております。その評価は建物ではなく、そこで活動される地域の皆様お一人お一人の努力が評価されたものであり、地域の皆様の存在こそが宝なのだということを強く実感しております。その皆様の拠点である玖波公民館も、建物の宿命であります「老朽化」により、安全面での対策として、建替えを検討しなければならない時期を迎えました。古い建物には、古いなりの使い勝手や価値、味わいというものがございます。今のままで維持したいというお声もあろうかと思いますが、私どもが、まず第一に考えるのは、皆様が安全に、快適に使っていただける施設にしたいということです。その上で、施設が新たな形に生まれ変わっても、これまでと同じ、あるいはこれまで以上に長く皆様に愛される施設になってほしいと思っております。本日の説明を出発点として、まずは皆様にこの事業の目的や、市の方針などに御理解を賜り、皆様と一緒に考えながら、将来に渡って、地域が誇る、また、大竹市が市内外に誇れる施設にしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

説明に入ります前に、大竹市側の出席者を紹介させていただきます。まず、事業の担当課である生涯学習課から、私、課長の川村と、施設スポーツ係長の武田。施設スポーツ係主査の作永。コミュニティサロン玖波の所管課である自治振興課より、課長の岡崎。自治振興係主幹の村山。自治振興係長の佐伯。以上が市側の出席者となります。

それでは、説明に入らせていただきます。説明は、生涯学習課施設スポーツ係長の武田が行います。

(施設スポーツ係長)

《別添資料に沿って説明》

(生涯学習課長)

それでは、ただいまの説明に対しまして、御出席の皆様から質問などをお受けしたいと思いますが、先ほどの説明にもありましたように、玖波公民館を地域交流施設として整備していくに当たり、今後、地域の皆様からご意見をいただきながら、施設の基本構想・基本計画というものを作ってまいります。本日は、まずそのスタートとして、市の考え方や方針、スケジュールなどを説明させていただきました。説明を聞かれて、色々なご意見や、今の玖波公民館への想いなど、今の時点でそれぞれにお持ちになられているかと思いますが、この場で、こうします、とお答えできることは少ないかもしれません。ですので、本日この場は、皆様から疑問点やご質問をいただき、お答えさせていただく中で、皆様との共通理解を深めていく時間にしたいと考えております。今後、皆様からのご意見などは、説明にもありました、ヒアリングですとかワークショップ、アンケートなど、さまざまな形で伺ってまいりたいと思っておりますので、御理解のほど、よろしく願いいたします。もちろん、この場でどうしても、というご意見がございましたら、妨げるものではありませんので、よろしく願いいたします。

それではご質問などある方は、お手数ですが挙手をお願いいたします。

(参加者)

まず、玖波公民館の建替事業に予算化の目途を立てられたことに、本当に敬意を表したいと思います。市が提示した現在の駐車場での建替えについて一言申し上げます。玖波公民館は、住民のための施設であり、安心・安全性、利便性が求められる施設だと思えます。建替えにより耐震の安全性は確保できますが、ハザードマップの津波高潮の浸水エリアのままであり、安心・安全が確保できるのでしょうか。嵩上げしたとしても、過去の災害事例を見ても、道路の漂流物の除去に始まり、仮に建物が使えたとしてもインフラはどうでしょうか。かなり時間がかかるのではないのでしょうか。また、交通量の多い国道2号を渡るということは、安全・利便性に叶うのでしょうか。私が小学生の頃、同級生が国道2号で交通事故に遭いました。そのために信号がたくさんできました。子どもや高齢者に優しい立地とは思えません。事業に反対しているわけではなく、立地の再考をお願いしたいと思っています。説明では、コミュニティサロンとの関係もありましたが、コミュニティサロンの北側にある未利用の空き地と民間駐車場の場所が、現在の公民館駐車場と同じくらいのサイズだと思うので、むしろそこのほうが適地ではないのでしょうか。あの場所と現在の公民館駐車場を交換することは検討できないのでしょうか。すぐに交換が成立すれば、場所が変わるだけなので、建替えのスケジュールには影響はないと思います。用途地域的にも、この土地は、南側の一部が第一種住居地域で、北側が近隣商業地域です。第一種住居地域というのは、建ぺい率、容積率、それぞれ60%、200%ですが、近隣商業地域では80%、300%であり、300%ということは敷

地面積に対して3倍の面積の建物が建つということになり、また道路斜線・隣地斜線・日影規制などでも圧倒的に有利ですので、行政でのボリュームチェックをお願いしたいと思います。さらに公民館にエレベーターがないということで、バリアフリーの面でも必要かと思えます。交通便利性の面でも、JRやこいこいバスなど有利な条件があります。何より、玖波地域を盛り上げていくために、日本一の公民館の名前を良い場所に、施設の面からもふさわしいものにしていただきたいと思います。JRからよく見えるのでアピール効果は絶大だと思っています。

(施設スポーツ係長)

コミサロの隣の民有地を活用するという点については、もちろんスケジュール的なことや財源のこともある中で、地域の皆様の声というのがまず第一ですので、地域の皆様が「この形が良いよね」となった場合に、市としても考えていく必要はあると思います。土地の交換というご意見をいただきましたが、土地の交換がうまく進めばできるかもしれないし、スムーズに進まない場合には、もっと時間がかかります。そのような点も考えながら、どういう形が最適なのかを総合的に考えていくために、7月から皆様の声を聞いていくわけですが、それが綺麗に一つにまとまるというのは、どのような事例でも難しいと思いますので、できるだけベストなものに近づけていく努力をしていきたいと思っています。

(参加者)

国道2号を渡る危険性というのは分かるのですが、玖波に住んでいる以上、国道2号は渡らなければいけなくなるので、そのために公民館の場所を変えるというのは少し違うのではないかなと思います。それと、今の建物の面積を20%減らすという話でしたが、全国1位にもなった、今までの公民館としての活動が今後も同じようにできればいいのですが、それができないということになると、今まで頑張ってきた方、たくさん協力された方、ボランティアの方とかの努力が無駄になるのではないかなと思って、それが一番問題だと思っていますので、しっかりと考慮していただきたいと思います。

(施設スポーツ係長)

玖波公民館の今の建物の面積を20%減らすというわけではありません。市の公共施設等総合管理計画の対象となっている全ての公共施設のトータルの床面積を、令和27年度までに20%減らそうという目標を設定しているということです。一例を申しますと、老朽化した平屋の市営住宅が市内にたくさんあります。これらは老朽化に伴い解体し、高層アパートに変わってっていますが、これらも解体していく中でトータルで面積を減らしていくなどして、市の公共施設全体で20%減らそうという話ですので、公民館の面積を20%減らすということを決めたわけではありません。今後皆様のご意見を聞いていく中で、どれだけの規模・機能が要るのか、今の体育館と全く同じ規模が必要になるのか、そういうことを議論して、必要なものを残していく作業が必要になります。それから、起債について説明しましたが、この事業では、コミュニティサロンと消防屯所と公民館という3つの施設が対象になっています。

これらが新しい施設になったときに、起債の要件に合う形には少しでも面積を減らす必要があるわけですが、細かい条件によって変わる部分があり、この場で必ずこうなりますとお伝えできません。ただ、皆様が明らかに必要と思っているものを無視して進めるつもりはありませんので、そこは意見を聞きながら進めていく、ということで、現時点をご理解いただければと思います。

(参加者)

国の補助金と面積の問題があると思うのですが、何故コミュニティサロンと消防屯所を公民館と一緒にするのでしょうか。アバウトですが自分なりに計算しますと、今の公民館の広さを100%とすると、駐車場のある土地に消防屯所まで入れると、公民館部分は80%程度の広さになるのではないのでしょうか。そうなると、公民館だけで20%面積を減らすわけではないと言っても、実質広さは2割減になってしまうわけで、そこにさらにコミサロまで入れれば、それだけで20~30%は使われるとすると、残りは50%程度しかなくなってしまいます。今の公民館が様々な仕掛けをして皆が盛り上がっていて、大ホールでは卓球やバレーもしますし、色々なイベントもやっていて、多くの方が参加して小さなお子さんからお年寄りの方まで盛り上がっている中で、現在の機能が50%程度になると、今までのような仕掛けもできなくなり、地域の皆さんの参加意識がなくなってしまうのではないかと思います。市の説明だと、国の補助金など財源のために消防屯所なども入れるというように取れるので、もう少し説明をしてほしいです。

(生涯学習課長)

昨年度、公民館の建替えの議論をするためのワーキングスタッフ会議というものが庁内でありまして、その中で、新施設を公民館駐車場に建てる場合は、今の消防屯所を解体する必要があるという話が出ました。その際、消防屯所も公民館と同じぐらい古いので、解体して別の場所に移転新築するという案も考えられましたが、一例として、松ヶ原集会所にも消防屯所が併設されていまして、消防団の車庫があって、団員の方が待機する部屋がありますが、ちょっとした会議ができる部屋やトイレなどの水回りなどは集会所と共有することで、重複しそうな機能を省略できるという利点があることから、併設という案が出たという経緯があります。

(参加者)

建物の規模や地域の活動状況も異なるのに、同じようなやり方を当てはめるのは違うのではないのでしょうか。

(生涯学習課長)

もちろん一つの案として挙げただけですので、これから皆様の意見を聞きながら進めていく中で、消防屯所は新施設と離して整備するという話になる可能性もあると思います。

(参加者)

まずはこのように地域の皆さんとの意見交換の場を早急に設置していただき、本当にありがとうございます。自分の思いとしては、市役所の皆さんと地域の皆さんが、この新しい建物に対して、わくわくして、早くできないかなとか、良いものになって欲しいなという思いで進めていただきたいというのが、これまで玖波公民館に携わってきた若者の意見として、お伝えさせていただきたい点です。確かに規模は小さくなるかもしれませんが、これまでやってきたことができなくなるという懸念もあるかもしれません。ただ、これは玖波公民館で活動されてきた方々も、これからの公民館のあり方というものを一緒に考える、一つの機会になるのではないかと考えています。これまで公民館で色々な企画をさせてもらいましたが、本当に予算の面であったり、規模の面であったり、色々な制約がある中でアイデアを出し合って、本当に素晴らしい企画を続けてきたというのは、建物どうこうの話ではなく、皆さんが熱意を持って、この地域を盛り上げたいという思いであって、その成果が日本一の公民館という形になったのだと思っています。なので、喧々諤々となるのではなく、どうしたら本当に良い施設になるのか、玖波公民館の活動がより充実していくのか、建設的な議論をしっかりとしていきたいと思っています。その中で、やはり耐震性・安全性というところはもちろん大事だと思うのですが、今の活動を継続するだけじゃなくて、例えば外から人を呼べるような施設であったり、その財源を確保するために、もう少し視野を広げたりとか、そういったものも一意見としてあると思います。今までやったことができなくなる、どうするんだ、ではなくて、できないなら今度はこういうことができるのではないかというような建設的なワークショップなど、意見交換の場をこれからも持っていただければと思います。自分もこれから引き続き参加していこうと思いますが、もう一度日本一を取れるぐらいの施設にしたいと思っています。

(生涯学習課長)

ありがとうございます。こういう事業の場合、行政の側の一方的な思いで説明してしまうことが往々にしてあるかと思いますが、そういう反省を基に、皆様と一緒に考えて、今まで積み上げてきたものを潰すのではなく、未来志向でさらに発展できるような形でやっていきたいと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

(参加者)

生涯学習グループの舞台発表をするための舞台がなくなるのではないかというような話も出ています。今日の説明では、これからワークショップをやると言われていましたが、私も色々な事業の中のワークショップに参加してきましたけど、ワークショップで話すときには、ほぼ決定に近いような状況だったりします。なので今日の時点で、しっかり意見しておかないとワークショップで何か言っても通らないのではと思っています。施設が統合されて使いづらくなると、皆さん高齢化していますから、他の地域に出かけるというのは、今の市の交通の便からしても難しいので、現在の活動がそのままできて発表もできるのであれば、

消防屯所が入ってもいいのですが、それは無理なように感じますので、そのところをしっかりと検討してほしいです。

(生涯学習課長)

先ほど庁内のワーキングスタッフ会議のお話をしましたが、消防の立場で言えば、併設でなくても新しく建替えができればよくて、別の場所でもいいわけです。ただ、消防屯所の建替えをするための財源がなく、団員の皆さんにも不自由をさせていて申し訳ないという面もあり、この事業の中で建替えができて、少しでも団員の皆さんの処遇改善になればという思いがありました。併設になることで使い勝手が良いのか悪いのかは判断し切れませんが、地域の方と施設を共有するということが未来志向ではないかと個人的には思っています。また、浸水想定区域に関するご意見もありましたが、私も最初はコミサロへの移転ができないかという思いがありましたが、総合的な評価として、現在の案のほうが高い評価となり、12月に市議会に報告させていただきました。私自身もその際はまだ研究不足のところもあり、感覚的なものでどのような案がよいかというところまでしか言えなかったのもありますが、いずれにしても皆様のご意見を吸い上げながらやっていきたいと思っています。

(施設スポーツ係長)

一点補足をしますと、例えば現在地での建替えをすると、工事期間中は現在の建物が使えなくなりますので、そのあたりも考慮しつつ議論をしていく必要があると思います。それから、ワークショップの件ですが、既に決まっていることを話し合うような経験をされているとのことでしたが、我々としてはそのような趣旨でワークショップをするつもりはありません。この説明会についても、説明したから終わりということではありません。地域住民の皆様と一体となってまちづくりを進めるためには、対立構造を作っても意味がなく、違いを共有し、受け入れていきながら同じ方向を向いて進めていかないといけないと思っていますので、今後も随時説明してほしいとか、話を聞いてほしいというご要望がありましたら、もちろん市側の事情というものはありますが、できるだけ機会を作っていきたいと思ひますし、皆様の大きな想いがあれば、それが形になっていくだろうと思います。

(参加者)

今、本当に高齢化、人口減少社会に突入している中で、今だけを考えるのではなく将来を見据えてどのような施設にしていくのかという目的、目標を明らかにすることが必要と思うのですが、そのあたりがちょっと見えてこないように思います。高齢化した住民ができるだけ自宅に閉じこもらずに参加できるようにすること、そこに若者の活動を入れて、住民が楽しく交流できる場にするには、どのようなスペースと設備が必要なのかを、点ではなく面で考えていく必要があるのかなと思いますし、それと同時に、今色々な活動をしているメンバーがだんだん高齢化する中で、若い人をどんどん入れて新しい風を吹き込んでいかなければなかなか活性化に繋がらないと思いますので、どういう活動をどういう目的・目標を持って進めていくのかも併せて考えていただけたらいいかなと思います。

(生涯学習課長)

ありがとうございます。まさにそういう部分を一緒に考えていきたいと思います。

(参加者)

コミュニティサロンを統合するにはそれなりの理由があるのではと思いますが、先ほどの説明では、市の公共施設の面積を 20%削るのに、市営住宅を整理する話がありました。その上で、公民館も 20%削るといような話なのでしょうか。

(施設スポーツ係長)

繰り返しの説明になりますが、玖波公民館の面積を今よりも 20%減らすということではなく、市全体の公共施設、市営住宅や学校など様々な施設があるその合計の面積を、令和 27 年度までに 20%削る目標が市の計画の中にあるということです。また、起債に関しては、20%減らすことが条件ではなく、ただし少しでも減らす必要はあるということです。その中で、皆様のご意見を聞いて、優先順位として必要な機能が決まっていき、規模が決まっていくと思いますので、我々としてもそこはしっかりと捉えて形にしていきたいと思っています。

(参加者)

結局のところ、なるべく税金を使わずに建て替えるために、公民館に消防屯所やコミュニティサロンを引っ張ってきて、それによって補助金が 50%もらえるという方向性は決まっているのではないですか。

(施設スポーツ係長)

補助金については、先ほど説明しました立地適正化計画に基づいた事業に使えるもので、我々としても確実に活用していきたいと思っていますが、統合して面積を減らすことは補助金の要件ではありません。残りの 50%の財源として、起債を活用する、その要件として、施設を統合して面積を少しでも減らす必要があるということです。

(参加者)

今まで使ってきた建物がなくなるのは寂しいですが、綺麗になるのは嬉しいですし、私も楽しみにしています。一番気になるのは、工事期間中の活動はどうなるのだろうかということです。特に高齢者の方は、工事で休んでいる期間がすごく不安だと思います。

(生涯学習課長)

ご心配はごもっともだと思いますので、工期などが分かり次第、速やかに情報提供し、その間どのように活動していただけるかをまた相談をさせていただきたいと思っています。

(参加者)

地震や津波は起きないほうがいいですが、仮に災害が起きても、びくともしないような建物を作ってください。あと、さっき若い方からの意見がありましたけど、老人の声としまして、先ほどワークショップを行う時にはもう方向性は決まっているという話を聞き、そういうスケジュールなら非常に悲しいですが、ワークショップやアンケート、ヒアリングといったものが、必ずこの公民館にプラスになるよう、市の職員さんが頑張ってくれるのと一緒になって頑張っていきますので、ぜひ決まったものを話すのではない形で、時間をかけて必ず予定通りやってほしいです。

(生涯学習課長)

市の職員だけでどうこうする、ということは考えていませんので、本当に皆さんと一緒に未来志向で前向きに、今までの良いものもしっかりと受け継ぎながら進めていきたいと思っています。

(生涯学習課長)

そろそろ時間となりましたので、このあたり質疑を終わらせていただきたいと思います。疑問点やご質問がありましたら、随時、生涯学習課施設スポーツ係までお寄せください。また、皆様にご意見を伺うためのヒアリングやワークショップ、アンケートなどにつきましては、決まり次第、随時ご案内いたします。

最後になりますが、説明の中でもありましたように、この事業は、皆様と一緒に進めていくことが重要と考えています。説明が足りないとか、こういう場でも話してほしいなどのご要望がありましたら、できる限り対応していきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

それでは、以上で本日の説明会を終了させていただきます。長時間にわたってご出席いただきありがとうございます。